

# 寿楽苑だより

## 123号



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者/施設長 高村 敏明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664

TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941

e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp

http://www.funamijurakuen.jp

舟見寿楽苑

検索

発行/令和 5年 5月 20日

## チューリップ見学



4月14日、にゅうぜんフラワーロードへ、チューリップの見学に出かけて来ました。

天気良く、会場までの道すがら周りの風景を眺め、入居者様の会話も弾みます。

会場に到着し、広がるチューリップ畑を見て。

「きれいやね。来て良かったわ」

「向こうの方に船も見られたし、楽しませてもらうよ」

帰りに、あさひ舟川の春の四重奏を見て戻ったのですが、入居者様には久しぶりの外出で、気分転換を図っていただけようです。

## お花見

4月初旬から中旬にかけ、入居者様に春を満喫していただきたいと、バーデン明日の周りの散歩を兼ねて、お花見に出かけてきました。

桜が満開になっている木の下、みんなで童謡「さくらさくら」を合唱。すると、楽しそうな歌声が、公園の中へと響きわたります。

桜と一緒に撮った写真を、その場で目にする「カメラの中、いい女があらっしゃるね」と、桜に負けないような、素敵な笑顔に。花見では、自然に顔もほころぶ、入居者様でした。



## ご家族からの絵手紙



4月に入ってから、喜楽苑入居者様の部屋に、ご家族から送られてきた絵手紙が飾られています。

絵手紙は、ご家族から定期的に送られてきているもので、それを模造紙に貼ったもの。

季節の花や果物などが描かれた絵手紙、そのどれもからも入居者様を思う、ご家族の優しい心が伝わってきます。

「ありがとう お母さんの笑顔は みんなの笑顔」と書かれた絵手紙は、見る人の心まで温かくなっていくようで、入居者様は、絵手紙が届くのを楽しみにしていらっしゃいます。



## 春のお茶会

4月14日、ユニット広場で、春のお茶会を開催しました。

前もって開催日を伝えてあったため、入居者様は日が近づくと「もうすぐやね」と、とても楽しみにしている様子。

当日は、プロジェクターを使用し、大型スクリーンで日本各地の、桜の映像を間近で鑑賞です。

「座って、遠いとこの桜見られるなんて、ありがたいことやわ」



「ほら見っしょい。なんてきれいな桜なが」  
 「いっぺん、見たいと思った桜も、うつったよ」  
 「桜ちゃ、花の中で一番ながは、間違いないわ」  
 「パツと咲いて、パツと散るからいいがいぜ」  
 そして、この日準備してあったのは、抹茶とくずもちです。

心得のある入居者様が、職員の点てた抹茶をいただき「本格的なお茶、久しぶりやし、なんておいしいお薄なが」などと大好評でした。

## デイサービス

### おそうじゲーム

4月19日、利用者様に、デイサービスの掃除を手伝っていただきました。ただ、これは、ゲームの話。

テーブルの上へゴミに見立てたボールを並べ、ホウキとちり取りを使って、どちらが早く集められるかを競う、おそうじゲームです。

女性軍、掃除はお手の物とばかりに手早かったのですが、男性は滅多にやらないためか手間取る人が多く、思うようにボールを取れない人が続出。

「やっぱり、なんでも、やっとなんとだめやわ」



### 鯉のぼり陣取りゲーム



端午の節句が近づいた、5月1日のこと。

デイサービスの床には、たくさんの鯉が一列に並べられていました。持ったうちわで、鯉を上下左右に仰ぎながら、相手陣地へ泳がせるようにして追い込む、鯉のぼり陣取りゲームです。

決められた時間内に、どちら側に多く追い込めたかで勝敗を競うもの。「それ行け」と、両者声をかけながら、うちわを持つ手に力が入ります。相手側から「ここじゃない、あっち戻ろ」と、大きな声も。



## お花見とドライブ

4月に入る前、喜楽苑で初めて春を迎える入居者様から「向こうの道路の方にある桜っちゃん、いつ頃咲くがかね」と職員に。

「そうですね。いつもの年より早く、4月前に開花するかも知れませんよ。蕾を観察しておきますね」

「おらん家の庭にも桜の木があって、毎年、県外にいる娘が桜の時期に合わせて、入善に来るが」と、ご家族のことなどを教えてくださいました。

晴れて、桜が満開を迎えた日、入居者様を桜の木



の近くへお連れすると、どなたも異口同音に「わあ。きれいやわ」。

そして、「明日(あけび)の法福寺へ行ってみたいね。あの寺の大桜、それはきれいなが」と話す入居者様は、幼い頃から大桜を見て成長されたそうです。

その入居者様は、御年百歳。後日、一緒にドライブで法福寺を訪問。以前と、あまり変わらぬその風景を目にし「来られて良かった」と穏やかな表情で本堂へ向かって合掌、頭を下げていました。

## 行 事 等



## 手足ぬくもりひばり野湯へ

5月9日、舟見リバーサイドパークの足湯「手足ぬくもりひばり野湯」へ出かけました。途中、濃い緑色になった木々などを目にする、笑顔で「春、来たね」。

到着すると、靴下を脱いで、早速足を湯舟へ。

「ふーっ。のふとて気持ちいいわ」

「手も、足と一緒にあっためたら、いいがいぜ」

「ほんとか。体ぜんぶあったかになってきた」

「なんやら、年まで若なった気がするもん」

「お陰様で、夜になったら、ごいっと寝られるわ」



## 3匹のワンちゃんが訪問



4月に入って、喜楽苑へ3匹のワンちゃんが順番に訪れました。

職員が飼っている、フレンチブルドッグのウメちゃん。ダックスフンドのミミちゃん。そして、マルチーズのレオン君です。犬好きの入居者様は、抱っこするなり頬ずりをして、「なんて、かわいいが」。

「あんだ、おとなしいぜ。さっきから1回も吠えんもん」。ワンちゃんが帰る時間になると、入居者様は名残惜しそうに、「また、遊びに来られ。待ってるよ」。

まごころ善意

令和 5年 3月18日～令和 5年 5月17日  
(順不同・敬称略)

- ・川瀬 昭彦 ・バーデン明日 ・小林 姫重子
- ・上原 由紀 ・舟根 奈穂美 ・吉江 徹

寄付金

- ・川瀬 昭彦 ・ひばり野小学校児童会 ・匿名

寄付物品

- ・松田 直樹 ・大菅 勝治 ・鬼原 年信
- ・匿名
- ・入善町婦人ボランティア連絡協議会



ボランティア

 ご家族様・関係する皆様へ

現在、入居者様との面会は、ロビーとオンライン面会になっています。お手数をおかけして申し訳ございませんが、ご希望の場合は、他の方と重ならないよう、早目にご予約くださいますようお願い致します。

また、7月の夏まつりは、今年度もユニットごとで開催するため、ご家族様や関係者の方々への施設開放は、中止とさせていただくことになりましたので、ご了承ください。

春祭り、息の合った踊りが披露



4月8日、舟見の藤保内神社春の祭礼が行われ、児童と青年団による踊りが、正面玄関前で披露されました。

篠笛と太鼓の音に合わせた、かわいい踊りは小学生。そして、青年団は傘を2本使った、勇壮な踊りです。息の合った踊りに、見ている人たちからは、大きな拍手が。

踊りの後、入居者様・利用者様等の無病息災を祈願する神事が、厳かに執り行われました。

新入職員紹介



4月11日付け、舟見寿楽苑の1階へ配属になりました本田照美です。

生まれは氷見の山あい

いで、毎朝舟見へ向かう坂道を上っていると、実家に帰るような、なんとなく懐かしい気持ちになりながら通勤しています。

デイサービスと療養病棟の経験はありますが、介護の経験は短く、技術も乏しいため一生懸命頑張りますので、どうかよろしくお願い致します。



4月1日付けで、看護師として勤務することになりました、田村美香です。

長年、療養病院で高齢の方々

の看護に携わってきました。介護老人福祉施設での勤務は初めてになりますが、この舟見の地自然豊かな環境へ新たに身を置き1日でも早く皆様のお役に立てるよう頑張っておりますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

編集後記

夕方、散歩へ出かけた時のこと。うっそうと茂っていた果物等の木が、ほとんど切られているのに気づき「やった人がおらんようになって、若い人たち切ったがいね」。すると連れが「植えた人は好きでやったからいいけど、側の家の屋根まで枝が伸びて、迷惑やったはずやよ。その後始末、若い人たちへ残されたね」。

少し歩いたところで、肉を焼いているいい匂いが、ぷーんと漂ってきたでは。私が「どこかでバーベキュー、しとるみたいやね」。すると、「長いこと集まれんだし、一緒におしゃべりしながらの食事もできなんだ。やつとやわ」と連れ。そして、「何年ぶりかで、遠くにいる人なんかと顔を合わせられるが、今から楽しみ」。

好きで楽しいのなら、何をやってもいい訳ではなく、限度があるもの。ましてや、他の人が困ることなどは論外。後世に残すべきものと、残してはいけないものを判別し、間違えても苦勞の山を宿題として残すのは。